

平成26年3月24日
日本原燃株式会社
東北電力株式会社
東京電力株式会社
リサイクル燃料貯蔵株式会社

下北半島東部における海上ボーリング調査の実施について

日本原燃株式会社、東北電力株式会社、東京電力株式会社およびリサイクル燃料貯蔵株式会社は、中長期的な取り組みとして、大陸棚外縁および下北半島の地下深部の構造を把握し、この地形を形成したメカニズムを検討することとしております。

このため、平成24年11月以降、大陸棚外縁における海底地形、海底の地質および地下深部の地質構造に関するデータの取得を目的として、4社共同で海上音波探査を主体とした調査を実施しました。

その結果、本調査で得られたデータや知見等から、大陸棚外縁断層は「将来活動する可能性のある断層等」ではないという評価も含めて、これまでの事業者の耐震設計上の評価が変わるものではないことを確認しております。

(平成25年12月17日お知らせ済み)

今般、深い海底を掘削可能な地球深部探査船「ちきゅう」を活用することが可能となったことから、下北半島東部の地質データのさらなる拡充を目的として、同船による海上ボーリング調査および同調査を補完する目的の海上音波探査を、本年4月から実施することといたしました。

本調査から得られたデータにつきましても、有識者から構成される第三者委員会から、指導・助言をいただきながら、評価してまいります。

なお、下北半島東部における海上ボーリング調査の概要は、別紙のとおりです。

以 上

(別紙) 下北半島東部における海上ボーリング調査の実施について (概要)

下北半島東部における海上ボーリング調査の実施について（概要）

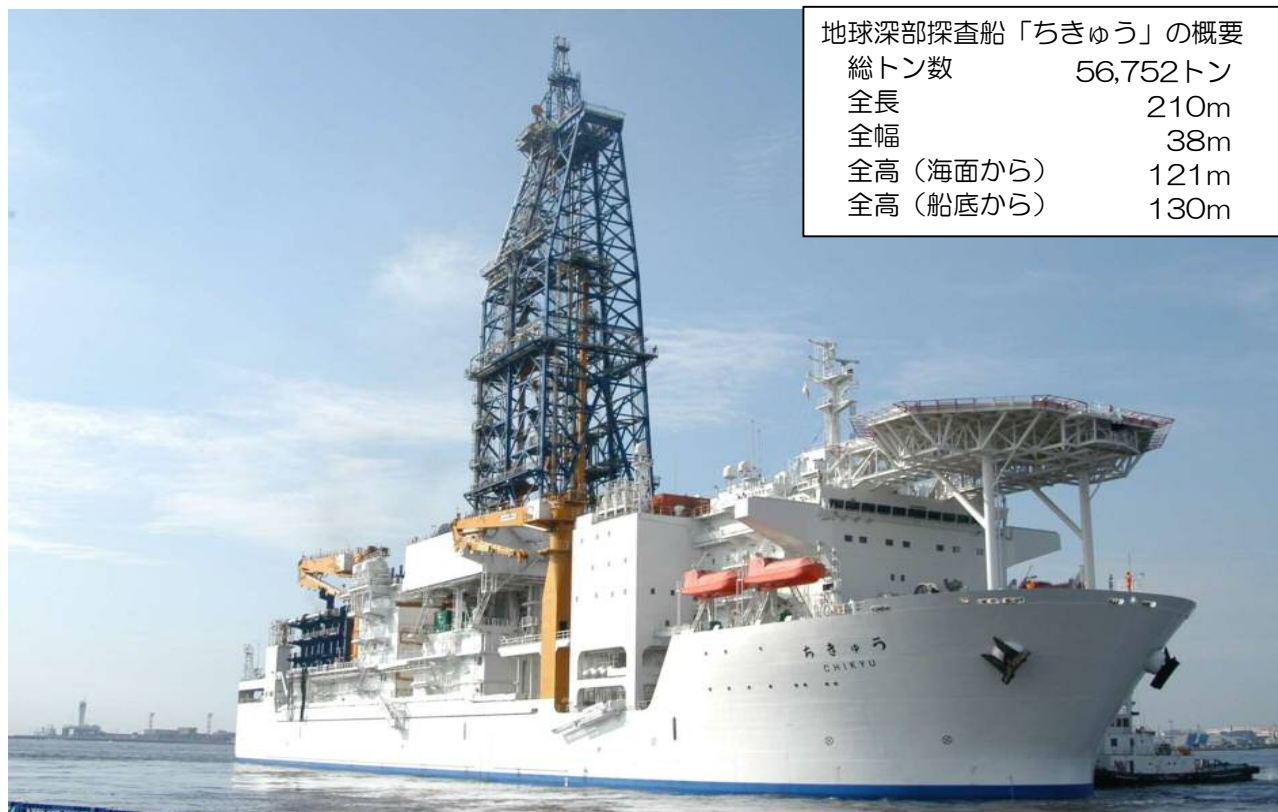
【調査目的】

日本原燃株式会社、東北電力株式会社、東京電力株式会社およびリサイクル燃料貯蔵株式会社は、今般、深い海底を掘削可能な地球深部探査船「ちきゅう」を活用することが可能となったことから、下北半島東部の地質データのさらなる拡充を目的として、同船による海上ボーリング調査および同調査を補完する目的の海上音波探査を、本年4月から実施します。

【調査内容】

海上ボーリング調査

- 地球深部探査船「ちきゅう」により、ボーリング調査（柱状の地層試料採取）および物理検層（地層の密度などを測定）を実施します。
- ボーリング地点の水深：約100～600m
- 海底下の掘削深さ：約50～700m
- ボーリング本数：5本程度

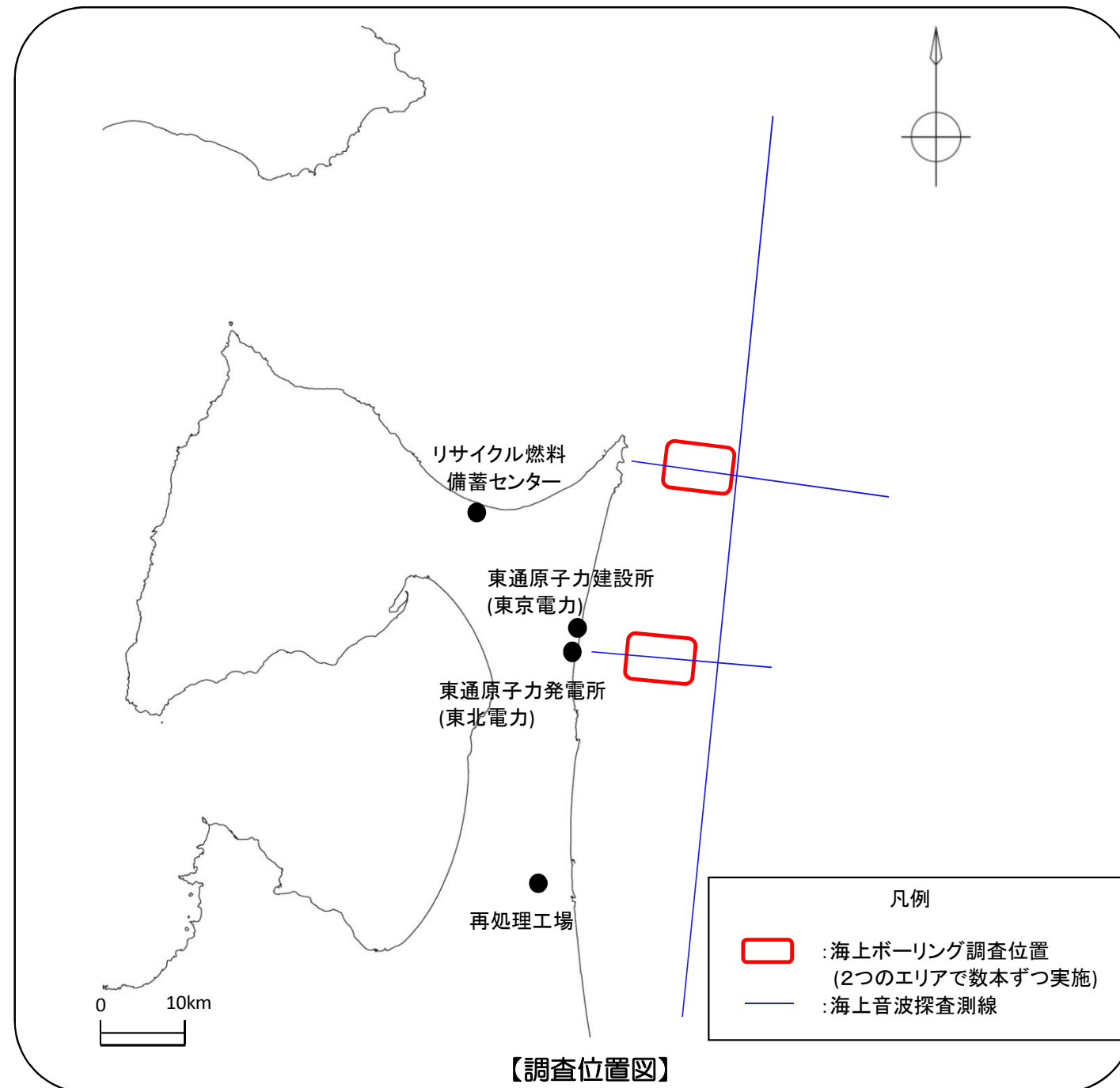


総トン数	56,752トン
全長	210m
全幅	38m
全高（海面から）	121m
全高（船底から）	130m

地球深部探査船「ちきゅう」

なお、海上ボーリング調査を補完する目的で、以下のとおり海上音波探査を実施します。

- 300トン級の調査船を用いて、長さ約350mのストリーマケーブルにて受振します。
- 測線数：3
- 総延長：約160km



【調査位置図】

	: 海上ボーリング調査位置 (2つのエリアで数本ずつ実施)
	: 海上音波探査測線

【調査工程】

調査項目	平成26年	
	4月	5月
海上ボーリング調査	[Green bar spanning from early April to mid-May]	
海上音波探査		[Blue bar spanning from late April to mid-May]